

大型工事着工

京滋営業所にて、京都の祇園近くの四条通沿いのホテルの改修工事が始まりました。祇園祭りまでには終了してはいけなないので、工程管理をしっかり行い、また車も人も大変多い場所なので安全管理をしっかり行って工事をしていきます。まずは難関の仮設足場設置作業を行っています。東京では、外苑西通り沿いで新国立競技場前のビルの改修工事が始まりました。新国立競技場のデッキから大変よく見えるビルです。



四条通沿改修現場



京都祇園改修現場



東京現場 奥は新国立競技場



東京外苑前大規模改修現場

プラントサービス事業が広がる

愛知県や奈良県で始まった休耕地、農地、田園地域の住宅周りの雑草や樹木を管理する事業が広がり、1月は新たに兵庫県、静岡県、長野県などでも受注となり、昨年や一昨年から始まった滋賀県、三重県、岐阜県、大阪府などでも順調に増加してきました。付帯する解体工事や不用品の処分なども増えてきており、さらに周辺都道府県にも伸ばしていけるよう営業をかけています。また、高齢化している農村地域の他のいろいろなニーズも拾って、事業を拡大していけるよう取り組んでいきます。

台東区が時給でトップ

東京中央営業所やビルワークの本社がある台東区が、全国で時給が一番高い地域になりました。千代田区、中央区、港区を抜いて台東区がトップになったのは驚きですが、浅草があってインバウンド需要が急速に増え、人手不足が激しいことが要因のようです。事務所のある浅草橋などもそうなのですが、台東区は成田空港と羽田空港の両空港と東京駅へのアクセスが良く、外国人向けの宿泊設備も急速に増えてきています。浅草橋の飲食店の価格も新宿から転居した時は、安い印象だったのですが、最近は大変高騰してきています。台東区のイメージも変わりつつあるようです。

熱田神宮が、初詣で大変賑わう

本社のある名古屋で、初詣といえば熱田神宮なのですが、昨年末に名鉄

神宮前駅にあつた nagAya(ながや)がオープンしたこともあり、大変な賑わいになりました。長屋のように名古屋飯や地元のお土産店などが並んで、駅に直結のため利便性もよく大変賑わいました。今までが工事中で神宮前には残念な感じだったのが、一気に明るく人が集うようになりました。

忘年会や新年会

会社の福利厚生の一つとして、毎年忘年会か新年会を開催する習慣になっています。社員の人数も増えて、営業所や店舗も増えて、あまり大人数になると店の予約等準備が大変なので、各部門で開催するようになってきました。これも自然とそうようになっていっただけで、確かなルールがあるわけではありません。そういうわけで、意外と他部門ではどうしているのか、知らないのではないかと思います。それぞれで利便性なども考えて開いているのですが、いろいろなところで行われているなど感じます。本社の部門でも、名古屋の金山、名駅、栄など、それぞれで行われ、デール名古屋東店は今池、瑞穂店は新瑞橋で行われました。東京は、新宿で行われました。また、北陸営業所は、金沢の中心地、香林坊・片町で開催され、京滋営業所は、京都駅で開いています。奈良は、大和八木で開いたそうです。社員だけで、しっかりと行くとところあれば、協力業者さんも呼んで30人以上の賑やかな会になっているところもあります。それぞれの部門の色があって、楽しく開催されて、親睦を深め、新しい年の英気が養われればいいですね。

公共案件初受注

昨年から、公共工事の受注に取り組んでいます。初受注となりました。愛知県の県立高校に可動仕切り壁を設置するものです。今年度中に引き渡しとなり、1300万円ほどの受注金額です。その他にも、多くの案件に入札参加しており、さらに増やしていけるよう取り組んでいきます。まずは、しっかりと受注した案件の施工管理を行っていきます。

施工事例紹介

- 工事名 防湿木炭工事
- 施工場所 富山県高岡市



■担当 住宅メンテナンス事業部 北陸営業所
新原 正也

3年前の床下点検で、白蟻被害とともに床下環境が悪化し、多くのカビが発生していることが確認されました。このため、白蟻駆除と同時に防湿木炭を一部のお部屋に敷き、床下の湿度調節と環境改善を図りました。3年目の定期点検では、防湿木炭を敷いたお部屋の湿度が適切に調節され、床下のカビが乾燥していることが確認されました。また、お客様自身も防湿木炭を敷いてから、梅雨時期の和室のカビ臭さがなくなったことに驚かれ、効果を実感されました。この結果、防湿木炭への信頼が深まり、追加で他のお部屋にも施工していただくことになりました。私は入社して5年目に入りましたが、防湿木炭によって多くのお客様に喜んでいただいております。そのため、床下の湿気に悩まれている方には心からおすすめできます。



ちょっと一言

「豊川稲荷参拝」



住宅メンテナンス事業部 三河営業所
前川 雅人

今年も初詣に行ってきました。毎年元旦に、妻の親と横浜に住む妻の妹家族と参拝に行き続けて約10年、それ以前にも別の人達と参拝にほぼ毎年行き続けて10数年、人生の半分近く豊川稲荷へ初詣に行っています。初めて豊川稲荷へ参拝に訪れたのは約30年前なので、初参拝を起点にするとほぼ毎年参拝しています。ここ10年は元旦の屋前に到着するのが常で、毎年入場規制もなく入ることができ、今年も同様でしたが、帰りには入場規制されていて驚きました。今年の三が日の参拝客が、この十数年で最高の185万人に達したと発表され、元旦だけで75万人も訪れたとの発表だったので、入場規制されたのも納得しました。豊川稲荷は日本三大稲荷の一つで商売繁盛のご利益で有名な稲荷ですので、御利益を受けに沢山の人が訪れていたようですね。私も仕事で良い事が起きてくれると良いのですが。

また、豊川稲荷は、正門から500m程の距離にある、駅伝をはじめ様々な部活動で優秀な成績を収めている豊川高等学校を運営しているようで、運営元が豊川稲荷ということは地元でもあまり知られてなく、私も最近知り驚きました。宗教施設内に幼稚園や学校があることや寺社が学校運営していることは多いですが、学校名が公立高校風ということもあり、まさか豊川稲荷が運営しているとは！という意見が多いです。

参拝の話に戻りますが、初詣といえはおみくじを引く方も多いとは思いますが、私は毎年引いていて今年大吉を引き当てましたので、1年間良いことが起きてくれることを願い帰路につきました。



内定者入社前研修会